

Library News



大山崎中学校 図書室

令和7年 6月

風待月になりました。

六月には様々な異名があります。水無月が最も知られた呼び方ですが、他にも風待月、水張月、涼暮月、鳴雷月などとも呼ばれます。風待月は梅雨特有のじっとりと蒸し暑い時期に、わずかな風でも待ち望む気持ちになることから6月の名称になったようです。うっとうしい季節ですが、自然の風の変化を感じて過ごせばいいですね。

雨の季節に読みたい本

雨には独特の情景や感情が宿ります。そのせいか、雨の降るシーンが印象的な本や映画がたくさんあります。図書室の蔵書から2冊。

『雨の降る日は学校に行かない』 相沢沙呼

6つの短編集で女子中学生が主人公。表題作は最後に収録されていて、最初の話につながっています。主人公のさっちゃんの気持ちと雨がリンクしていて泣きたくなくなってしまいます。6人の少女たちはみな心が深く傷ついているのですが、各話の最後には希望が感じられます。「虹は作れるよ」という保健室の先生の言葉が心に響きます。



『虹の図鑑』 武田康男

雨上がりに空に大きくかかる虹を見つけたら、なぜか誰かに教えたくくなりますよね。虹は簡単には見られないものだからでしょうか。本書はそんな虹のしくみや種類、そして虹の見つけ方を教えてくれます。



新着本から

『謎の香りはパン屋から』 土屋うさぎ

私、市倉小春は大阪のパン屋でバイトする大学生。学業のかたわら、パンを焼き、漫画を描く毎日。そんなある日、バイト仲間の由貴子に推しのライブビューをドタキャンされてちょっと悔しい。私との約束より優先することって何？考え込むうちに私はある一つの仮説にたどり着き…パンの香りに包まれた、小さな日常の謎解き。2025 年「このミステリーがすごい！」大賞受賞作。読む前にパンを用意してね！絶対食べたくなるから。

『私が鳥のときは』 平戸萌

「さらってきちゃった」あっけらかんと言う母の言葉と共に我が家にやってきた 40 歳代とおぼしきバナミさんは余命数ヶ月の宣告を受けた重病人だった…はすが、なんで？めちゃくちゃ声はでかいし、わがまま放題だし、それが嫌で父と弟はおばあちゃんちに避難するし、中 3 で受験生の私の夏休みはどうなるの？お母さんは何考えてんの？バナミさんの家族は何やってんの？蒼子は突然一緒に暮らし始めたバナミさんとの生活に怒りと戸惑いしか感じなかったが…… 氷室冴子青春文学賞受賞作！

『イクサガミ』 今村翔吾

明治 11 年、怪文書が日本中にばらまかれた。「腕に覚えがあるものは 5 月 5 日に天龍寺に集まれ。大金を得るチャンスを与える。」というものだ。妻子を重病から救うため、なんとしても金が必要だった愁二郎はわらにもすがる思いで天龍寺に出かけて行くが、それは 292 名が参加する東京までの命がけの旅の始まりだった……直木賞作家、今村翔吾が描く侍たちのデスゲーム。Netflix でドラマ化、配信決定のエンタメ時代小説！

『余命一年と宣告された僕が、余命半年の君と出会った話』 森田碧

高 1 の冬、早坂秋人は心臓病にかかり、余命宣告を受ける。絶望の中、秋人は病院で春奈と出会う。春奈もまた余命宣告を受けていたが、自分は死ぬのは怖くないと言う。秋人は次第に春奈に惹かれていき…

ほか、『よめぼく』シリーズ全 6 巻揃えました。



司書のひとりごと 昨日の本棚から 『カフネ』 阿部暁子

ようやく今年の本屋大賞読みました。あらすじから今年は癒し系の本が選ばれたのかと、勝手に思い込んでいました。確かに分類するとしたら、癒し系になるのかもしれませんが、それ以上に骨太でした。突然の弟の死、そして自らの離婚で精神状態ボロボロの中、薫子は弟の元恋人に会いに行きます。現れた小野寺せつなという女性は超無愛想で弟の遺産をもらうことを拒否。不養生と怒りのためか薫子はその場で倒れ、せつなに介抱されることとなります。せつなが作る温かい食事に心が癒されるのを感じ、言われるままに彼女の家事代行のボランティアを手伝ううちに、弟の死の謎が明らかに…無愛想なせつなと超まじめな薫子のパディの他者を思いやる暖かさに胸がいっぱいになりました。